

**NSW**

2023年3月期  
決算説明

2023年5月15日

*Humanware By Systemware*

# 目次

1. 2023年3月期決算概況

2. 2024年3月期計画

3. 事業トピックス

# 1. 2023年3月期決算概況

# 決算ハイライト1

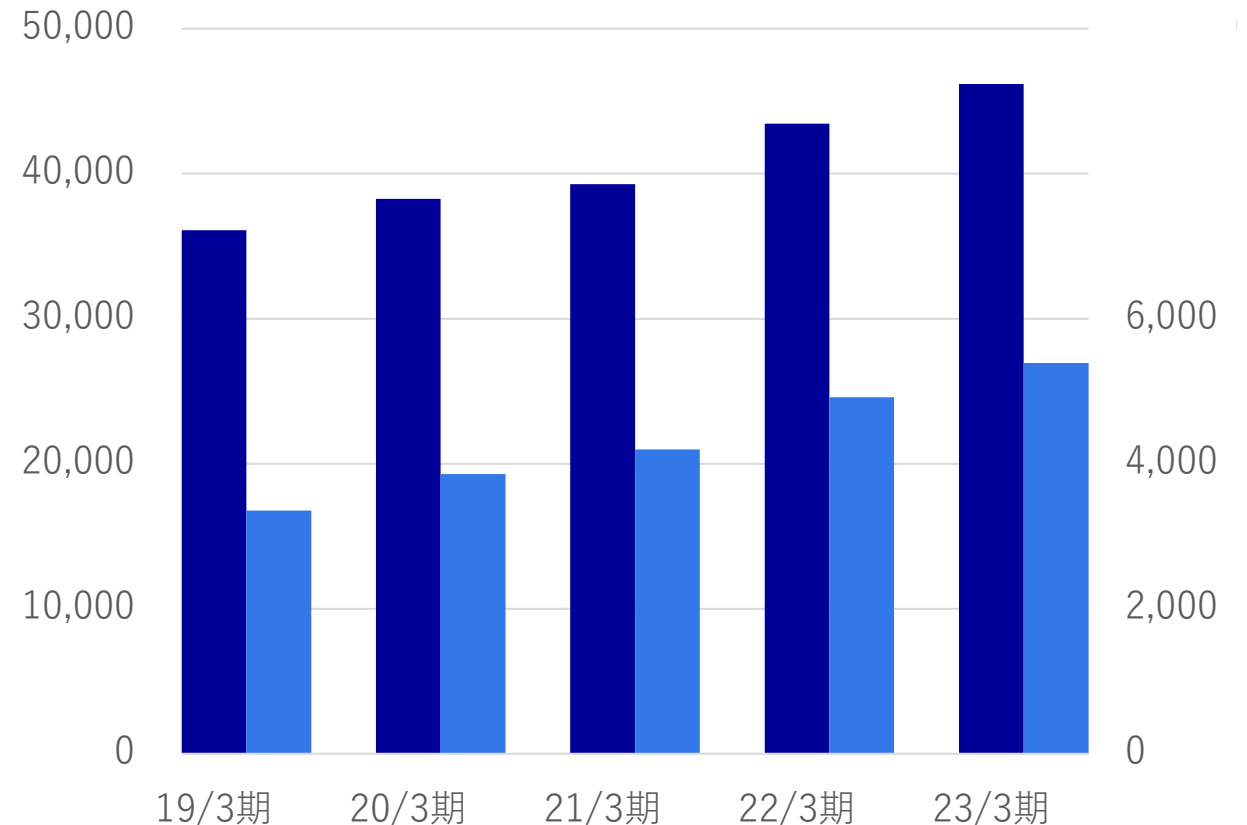
## 過去最高業績を更新、11期連続増収増益

(単位：百万円)

■ 売上高 (左軸) ■ 営業利益 (右軸)

売上高  
**46,188** 百万円 前年同期比 **+6.3** %

営業利益 (率)  
**5,387** 百万円 前年同期比 **+9.5** %  
(**11.7** %) (+**0.3**p)



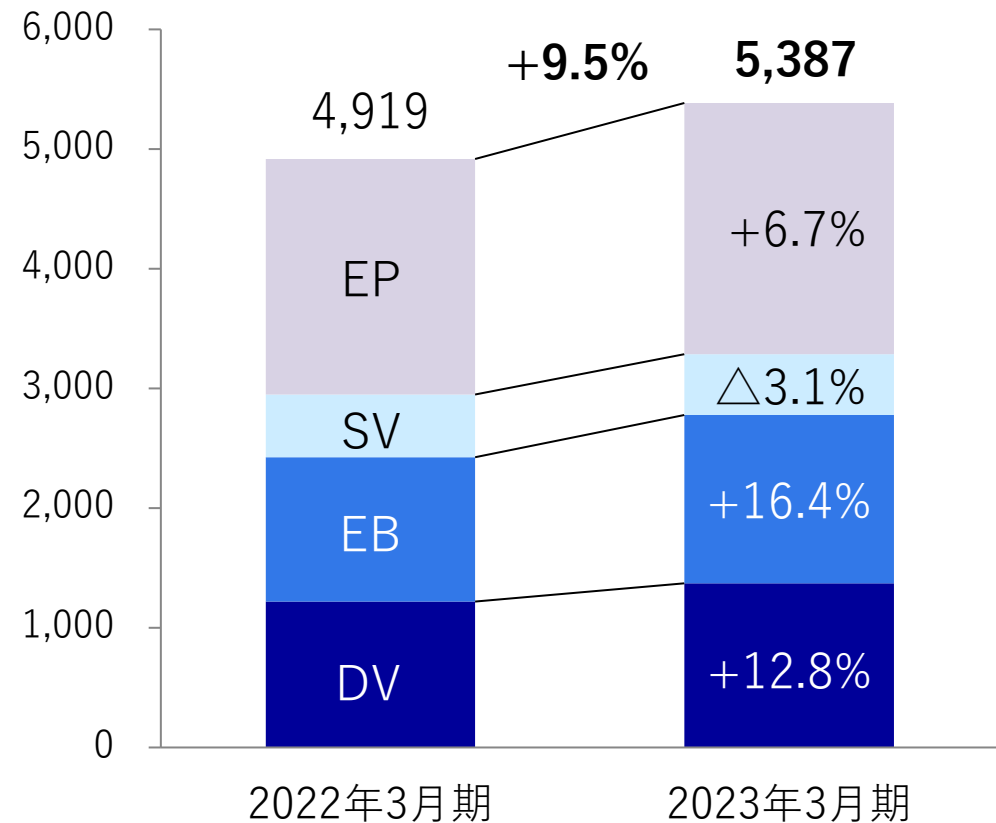
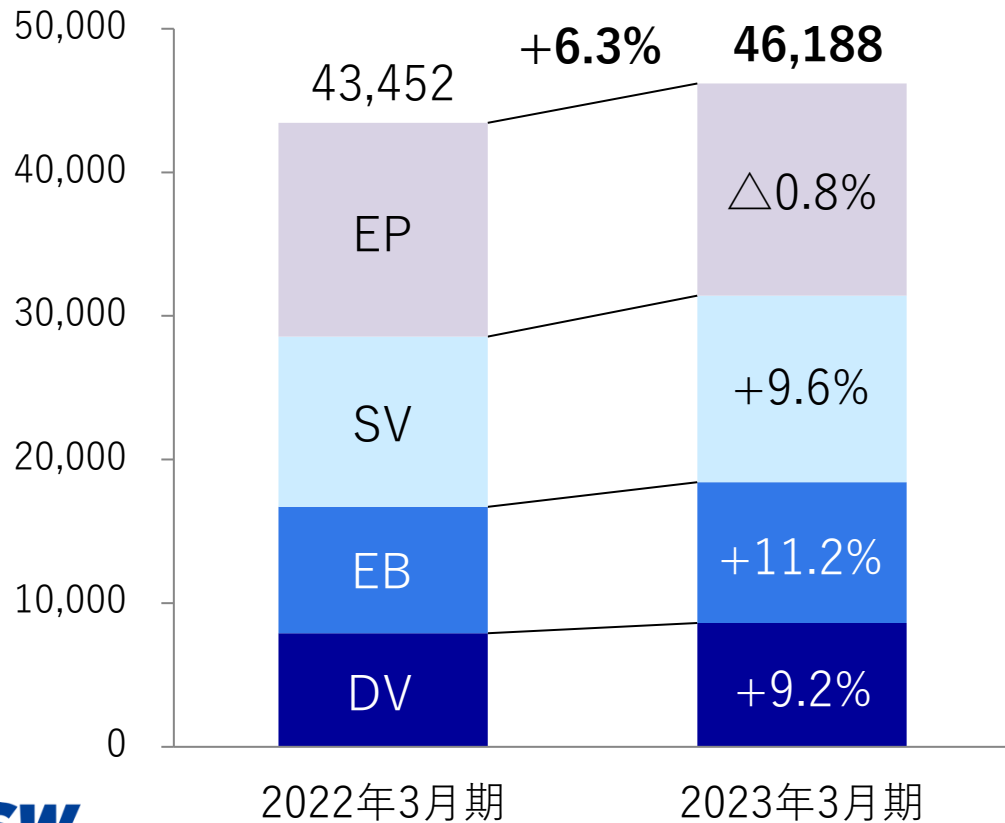
# 決算ハイライト2

## セグメント別売上・利益推移

(単位：百万円)

### ● 売上高

### ● 営業利益



# 連結業績 概要

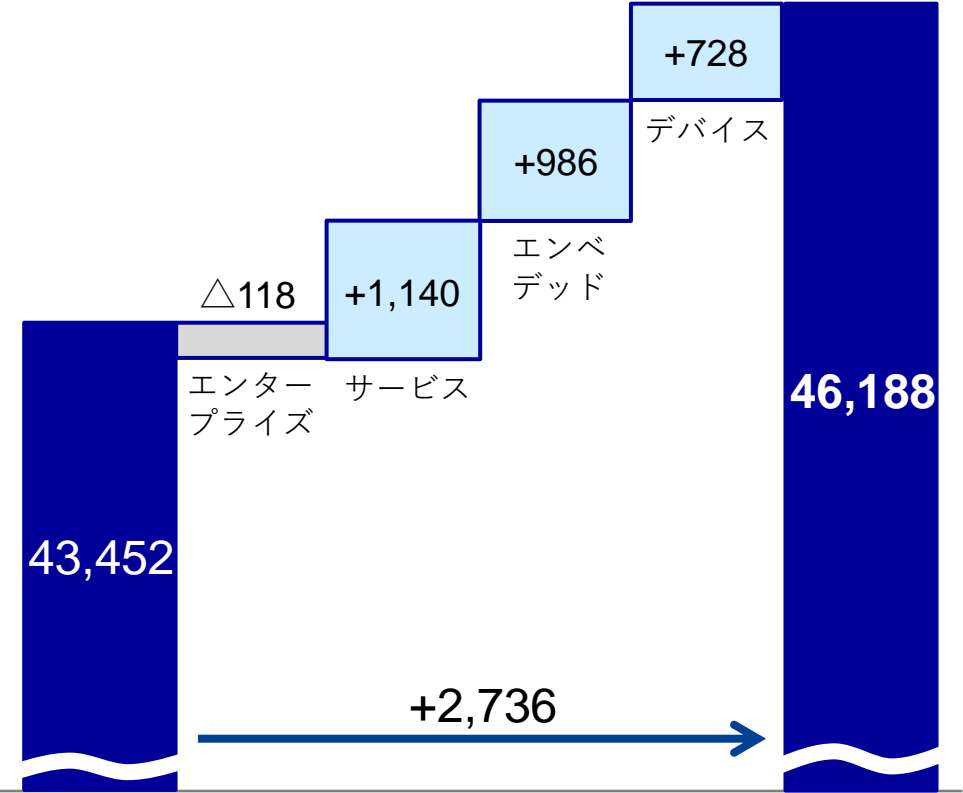
(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2022年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>46,188</b>	+1,188	+2.6%	+2,736	+6.3%	45,000	43,452
営業利益	<b>5,387</b>	+387	+7.8%	+468	+9.5%	5,000	4,919
┌ 同率	<b>11.7%</b>	+0.6p	/	+0.3p	/	11.1%	11.3%
經常利益	<b>5,442</b>	+402	+8.0%	+417	+8.3%	5,040	5,025
┌ 同率	<b>11.8%</b>	+0.6p	/	+0.2p	/	11.2%	11.6%
当期純利益	<b>4,090</b>	+640	+18.6%	+620	+17.9%	3,450	3,469
┌ 同率	<b>8.9%</b>	+1.2p	/	+0.9p	/	7.7%	8.0%
受注高	<b>48,780</b>	/		+5,603	+13.0%	/	
受注残高	<b>17,645</b>			+2,589	+17.2%		
							15,056

# 売上高・利益の増減要因（前年同期比）

（単位：百万円）

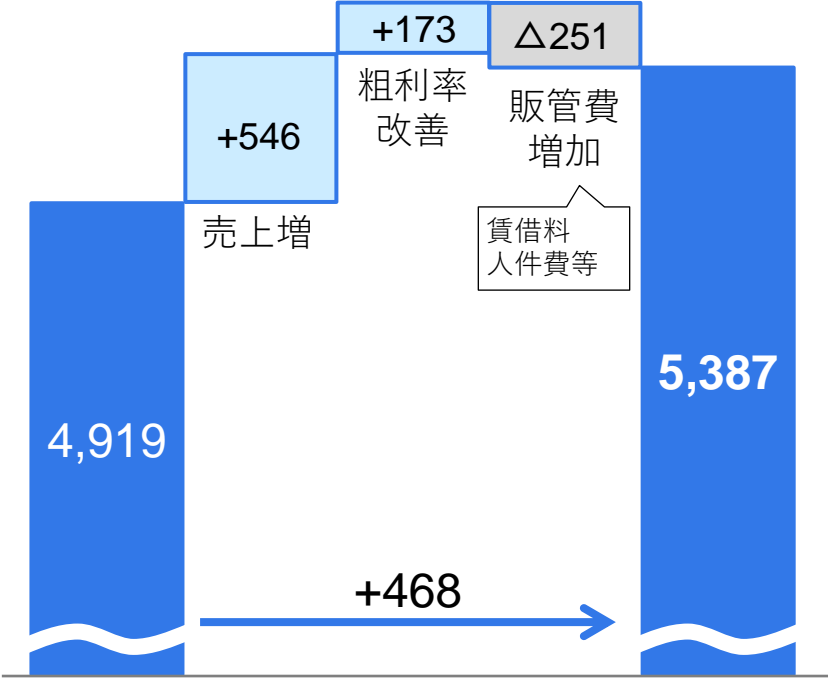
## ● 売上高



2022年3月期

2023年3月期

## ● 営業利益



2022年3月期

2023年3月期

# エンタープライズソリューションセグメント 概況

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2022年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>14,777</b>	△522	△3.4%	△118	△0.8%	<b>15,300</b>	<b>14,896</b>
ビジネスソリューション	<b>5,331</b>	/		+778	+17.1%	/	
金融・公共ソリューション	<b>7,370</b>			△227	△3.0%		
システム機器販売	<b>2,076</b>			△669	△24.4%		
営業利益	<b>2,099</b>	+219	+11.7%	+131	+6.7%	<b>1,880</b>	<b>1,968</b>
同率	<b>14.2%</b>	+1.9p	/		+1.0p	<b>12.3%</b>	<b>13.2%</b>
受注高	<b>16,188</b>	/		+2,496	+18.2%	/	
受注残高	<b>6,265</b>			+1,407	+29.0%		

## ビジネスソリューション

- 製造業向け  
ERPパッケージ提供による大型案件中心のビジネスモデルが拡大
- 小売業向け  
大型の店舗系システムの確実な取り込みにより増加

## 金融・公共ソリューション

- 金融・保険業向け  
カード決済分野は拡大するも生損保領域の縮小により減少
- 官公庁・団体向け  
補助金申請システムによる反動減はあるものの、既存顧客案件は堅調

## システム機器販売

- 前年好調だった小売業向け機器販売の反動により減少



# サービスソリューションセグメント概況

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2022年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>12,995</b>	+695	+5.7%	+1,140	+9.6%	<b>12,300</b>	<b>11,854</b>
デジタルソリューション	<b>3,134</b>	/		+192	+6.6%	/	
クラウド・インフラサービス	<b>9,860</b>			+947	+10.6%		
営業利益	<b>509</b>	△180	△26.2%	△16	△3.1%	<b>690</b>	<b>525</b>
同率	<b>3.9%</b>	△1.7p	/		△0.5p	<b>5.6%</b>	<b>4.4%</b>
受注高	<b>13,806</b>	/			+1,419	+11.5%	/
受注残高	<b>6,333</b>			+811	+14.7%		

## デジタルソリューション

- IoT・AI  
DX推進に向けた戦略的な取り組みが増加も、低採算案件の対応による機会損失が発生
- WEB・EC  
WEBサイト構築案件を中心に堅調に推移

## クラウド・インフラサービス

- インフラ・その他サービス  
データマネジメント分野が好調に推移しビジネスが拡大
- クラウド  
クラウド構築やデータマネジメント分野と連動したインフラ系開発が増加

# エンベデッドソリューションセグメント 概況

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2022年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>9,794</b>	+694	+7.6%	+986	+11.2%	9,100	8,808
営業利益	<b>1,404</b>	+184	+15.2%	+198	+16.4%	1,220	1,206
同率	<b>14.3%</b>	+0.9p		+0.6p		13.4%	13.7%
受注高	<b>9,759</b>			+594	+6.5%		9,165
受注残高	<b>2,346</b>			△34	△1.5%		2,380

## 組み込み開発

- オートモーティブ  
IVIなど従来の業務領域の維持に加えADAS関連が拡大
- モバイル  
キャリア向けの金融系アプリ開発等が増加
- 設備機器  
放送設備や関連アプリ開発、決済端末開発などが好調推移
- 通信  
5G関連案件および通信機器のソフト開発業務が堅調に推移

# デバイスソリューションセグメント概況

(単位：百万円)

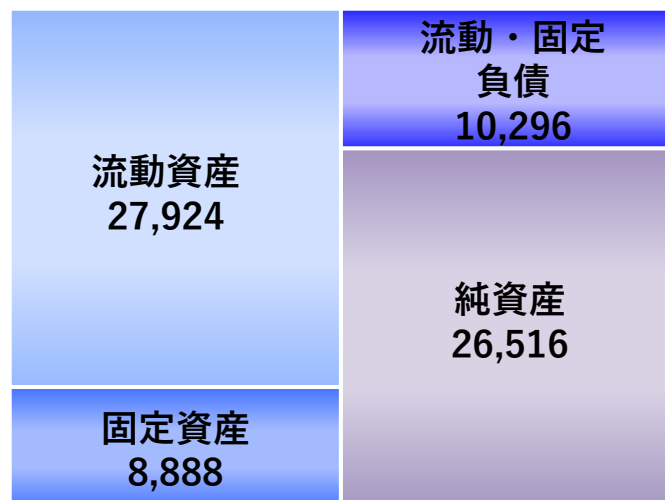
	2023年3月期 実績	計画比		前年同期比		計画	2022年3月期 実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	<b>8,621</b>	+321	+3.9%	+728	+9.2%	8,300	7,893
営業利益	<b>1,373</b>	+163	+13.6%	+155	+12.8%	1,210	1,218
同率	<b>15.9%</b>	+1.4p		+0.5p		14.6%	15.4%
受注高	<b>9,026</b>			+1,092	+13.8%		7,933
受注残高	<b>2,700</b>			+404	+17.6%		2,296

## デバイス開発

- 半導体設計分野の高い需要が続き、主要顧客との取引が増加し好調に推移
- 得意領域とするLSI設計・開発・評価業務が堅調に推移し拡大
- 業界全体の慢性的なリソース不足対策として海外活用やパートナー連携を拡大

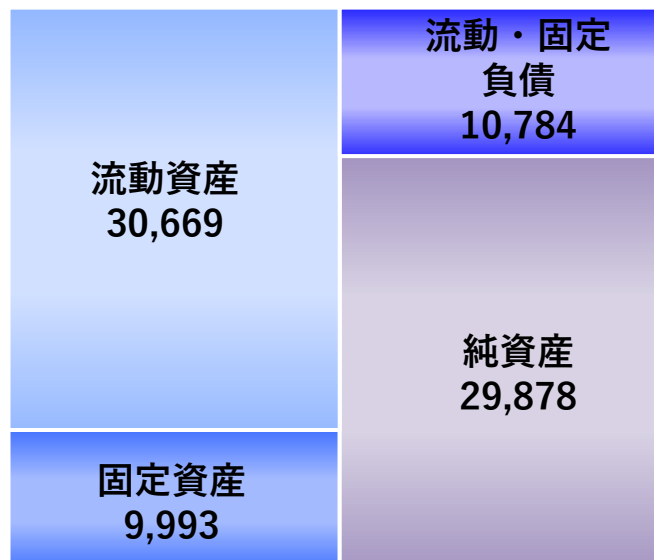
# 連結貸借対照表

2022年3月期末



総資産 36,813百万円

2023年3月期末



総資産 40,663百万円

## 主な要因

### 【資産】

売掛金の増加	+1,612
商品の増加	+579
敷金・保証金の増加	+398

### 【負債】

買掛金の増加	+535
未払金の増加	+189
未払費用の増加	+172

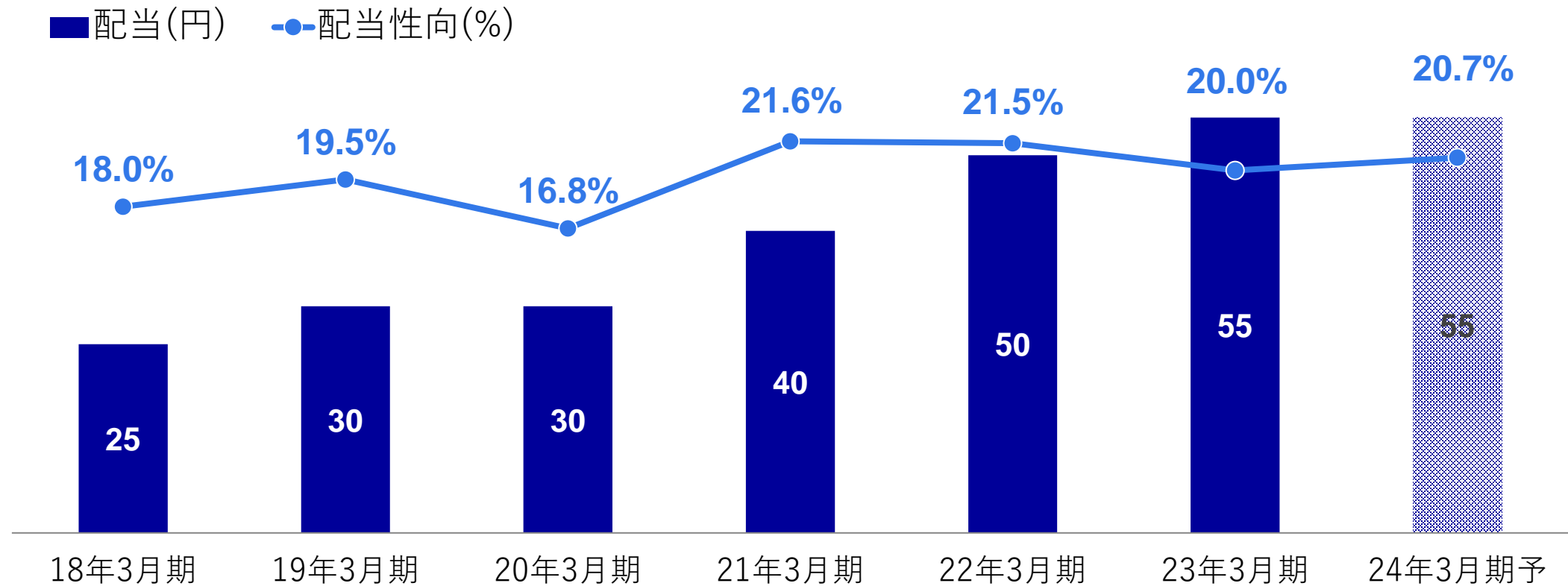
### 【純資産】

当期純利益	4,090
配当金の支払	△819

	2022年3月期末	2023年3月期末	前期末比
自己資本比率	72.0%	73.5%	+1.4p
自己資本当期純利益率 (ROE)	13.8%	14.5%	+0.7p
総資産経常利益率 (ROA)	14.5%	14.0%	△0.4p

# 配当予想

- 一株あたり配当金・連結配当性向の推移



財務状況および業績に応じた安定的かつ継続的な配当を実施

## 2. 2024年3月期計画

# 連結業績予想

(単位：百万円)

	2024年3月期 計画	前年同期比		2023年3月期 実績
		増減額	増減率	
売上高	<b>48,500</b>	+2,311	+5.0%	46,188
営業利益	<b>5,600</b>	+212	+3.9%	5,387
┌ 同率	<b>11.5%</b>	△0.1p	/	11.7%
経常利益	<b>5,650</b>	+207	+3.8%	5,442
┌ 同率	<b>11.6%</b>	△0.1p	/	11.8%
当期純利益	<b>3,950</b>	△140	△3.4%	4,090
┌ 同率	<b>8.1%</b>	△0.7p	/	8.9%

# セグメント別業績予想 1

(単位：百万円)

		2024年3月期 計画	前年同期比		2023年3月期 実績
			増減額	増減率	
エンタープライズ ソリューション	売上高	<b>15,900</b>	+1,122	+7.6%	14,777
	営業利益	<b>2,010</b>	△89	△4.3%	2,099
	同率	<b>12.6%</b>	△1.6p		14.2%
サービス ソリューション	売上高	<b>13,400</b>	+404	+3.1%	12,995
	営業利益	<b>780</b>	+270	+53.2%	509
	同率	<b>5.8%</b>	+1.9p		3.9%



# セグメント別業績予想 2

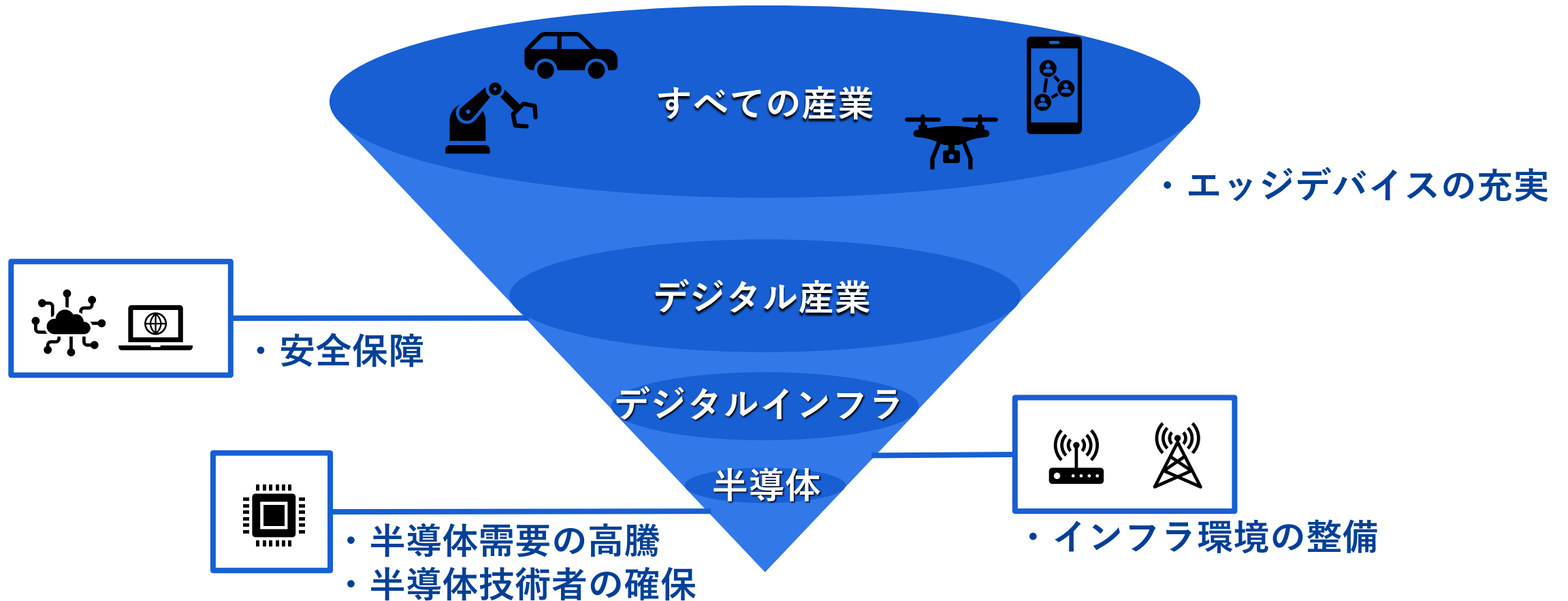
(単位：百万円)

		2024年3月期 計画	前年同期比		2023年3月期 実績
			増減額	増減率	
エンベデッド ソリューション	売上高	<b>10,100</b>	+305	+3.1%	9,794
	営業利益	<b>1,430</b>	+25	+1.8%	1,404
	同率	<b>14.2%</b>	△0.2p		14.3%
デバイス ソリューション	売上高	<b>9,100</b>	+478	+5.5%	8,621
	営業利益	<b>1,380</b>	+6	+0.4%	1,373
	同率	<b>15.2%</b>	△0.8p		15.9%

# 3-1. 事業トピックス

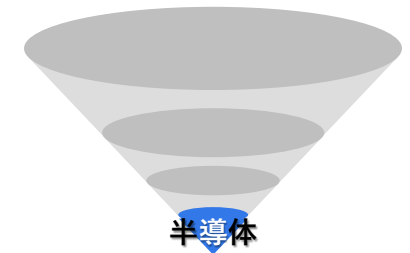
～新しい社会の実現に向けた取り組み～

# デジタル社会の実現に向けて

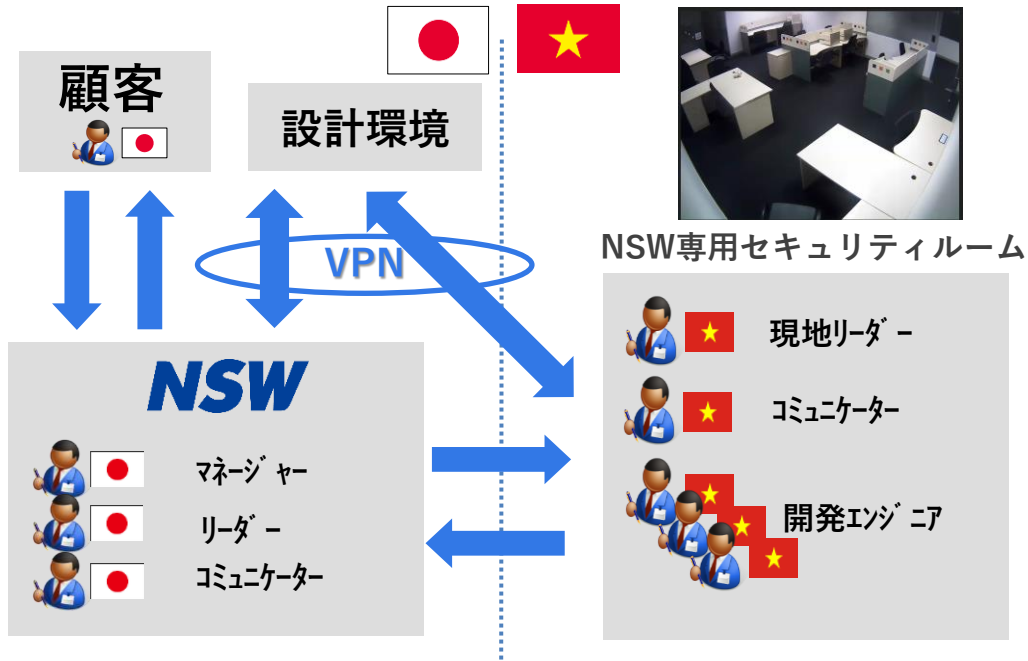


デジタル社会の実現には各課題への対応が必須である

# 半導体事業の対応力強化事例

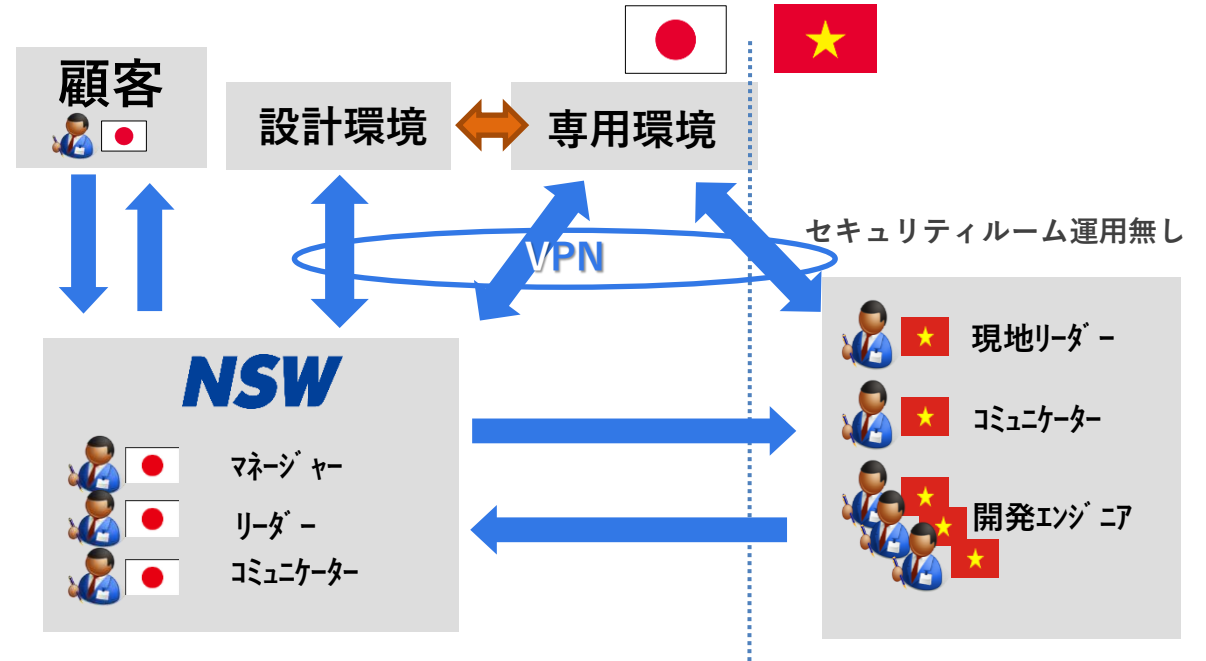


## ● ODC活用例1



2022年8月から運用開始

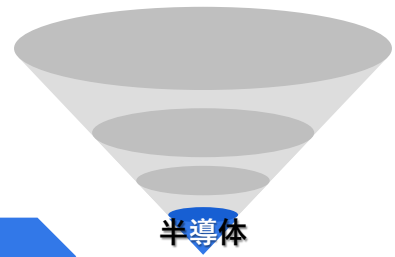
## ● ODC活用例2



2023年から運用予定

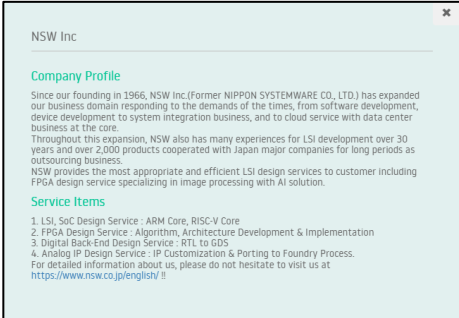
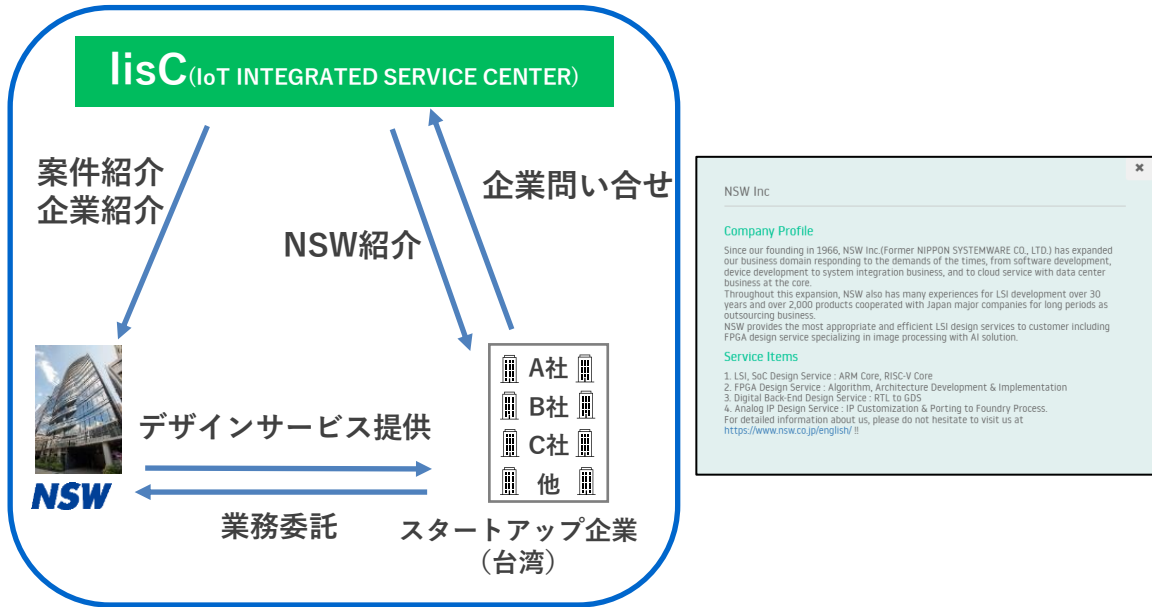
設計開発において企業ごとの開発体制の構築を実現  
 対応領域（ロジック・アナログ）、東南アジアを中心に拡大推進中

# 半導体事業の海外展開取り組み事例



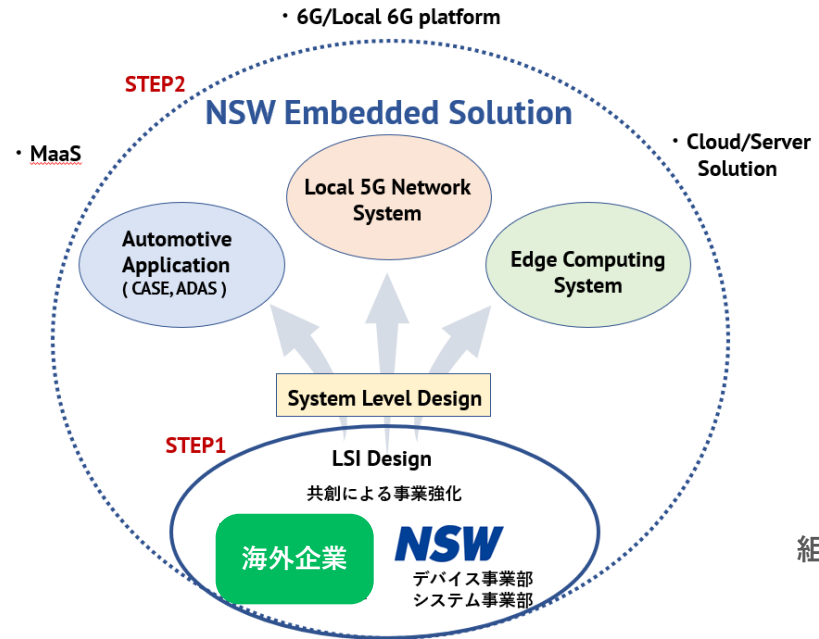
## ●日本-台湾連携事例

lisC主催 デザイン・パートナー・プログラム参画  
(設計パートナー)



## ●海外企業との共創体制強化

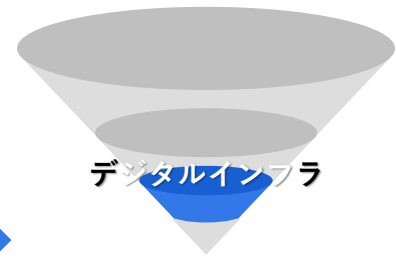
海外企業との共創事例



組み込み、デバイス開発から、対応領域分野の拡張へ

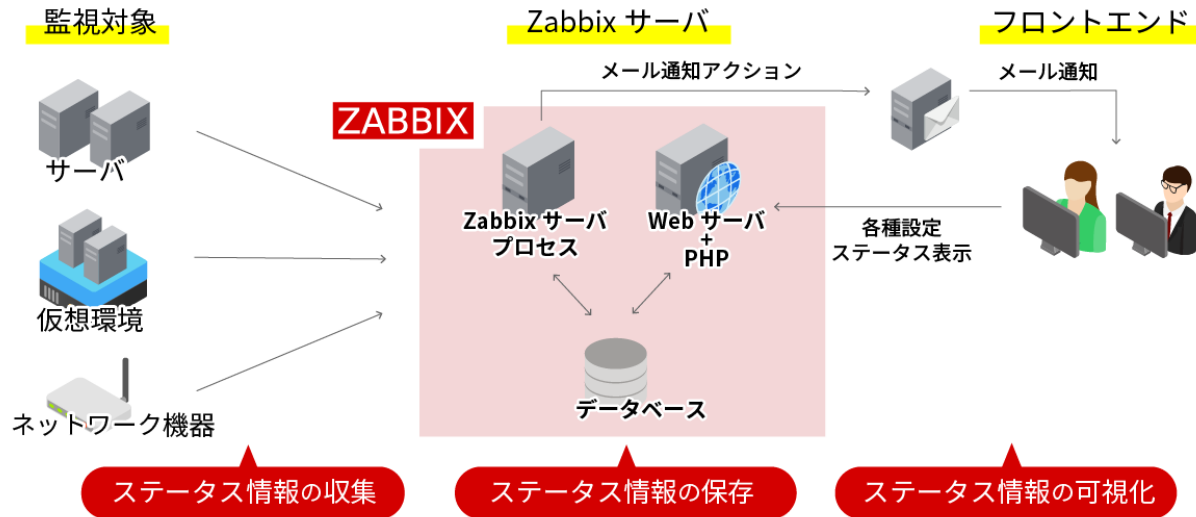
各種機関・企業との協業により海外進出を推進

# ネットワーク関連の取り組み



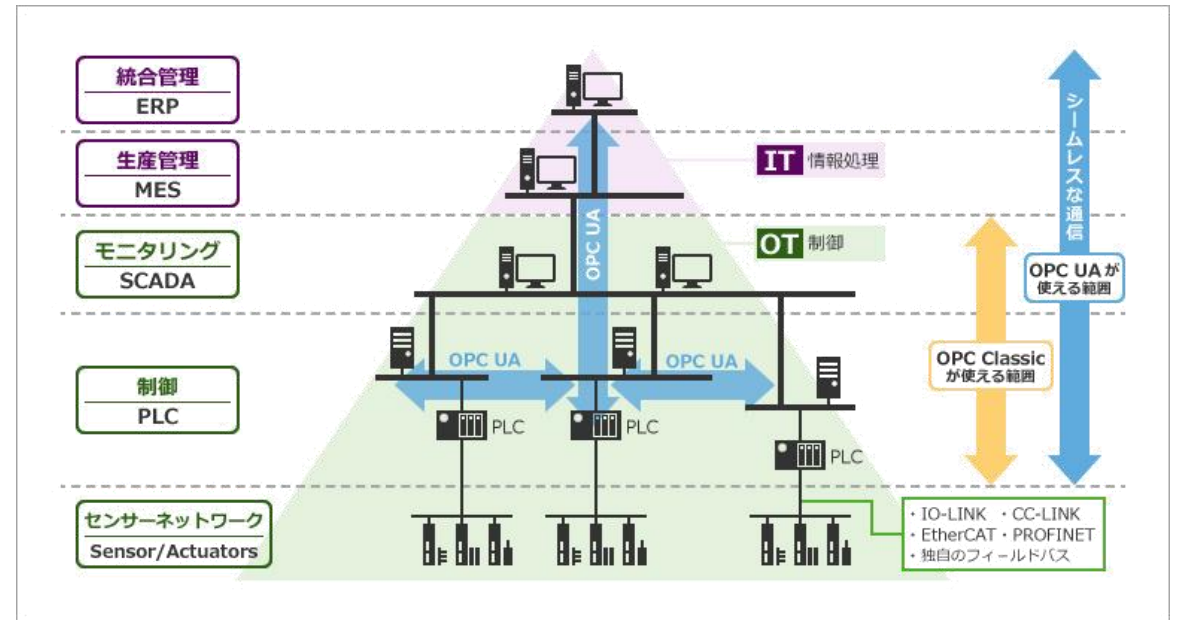
## ●ネットワーク監視・通信設備

- ✓ サーバ・ネットワーク監視に使われるZabbix、インフラ構築自動化ツールのAnsible、
- ✓ リモートデスクトップ操作が可能になるTeamViewerを題材にサービス商材を創出



## ●産業ネットワーク領域拡大

- ✓ 産業用イーサネット構築、ローカル5Gを活用しスマートファクトリーを実現
- ✓ 生産ラインのオペレーション最適化、自動化、ダウンタイム短縮による生産性向上



- **低コスト化**  
特定ベンダーに依存しないシステム
- **保守性向上**  
ITからフィールドまで統一される通信
- **生産効率化**  
きめ細やかな制御  
多品種少量生産

# エッジコンピューティング関連の取り組み



**クラウド・サービス**  
分析処理、ビッグデータ処理など



ゲートウェイ、サーバ他  
デバイス管理

クラウド・サーバー開発  
Webアプリ開発

**エッジコンピューティング**  
IoT連携制御、データ解析など



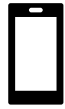
**コネクティビティ**  
Bluetooth、Wi-Fiなど



通信制御  
ドライバ、プロトコル

iOS/Androidアプリ開発  
GUI/CLIアプリ開発  
制御ソフト開発  
デバイスドライバ

**エッジデバイス、プロダクト**  
センサーデバイス、スマートフォン、  
ウェアラブルデバイス、監視カメラなど



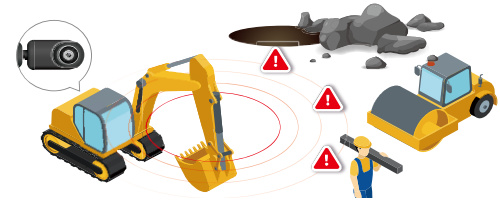
機器への組み込み



- ・電力需要予測
- ・機器制御



- ・建設IoT
- ・物流IoT
- ・農業IoT



- ・音声、画像認識
- ・モーター制御



# 車載技術展開の取り組み



IVI関連	走行安全系	ADAS
<ul style="list-style-type: none"> <li>●カーナビゲーション</li> <li>●カーオーディオ</li> <li>●ドライブレコーダー</li> <li>●コックピット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●AD・ADAS</li> <li>●単眼カメラ</li> <li>●ステレオカメラ</li> <li>●電子ミラー</li> <li>●自律走行システム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●汎用ロボットシステム開発フレームワーク</li> <li>●画像認識、AI(DeepLearning)</li> <li>●センサー(LiDAR、ToF)</li> <li>●高度位置測位(RTK、SLAM)</li> </ul>

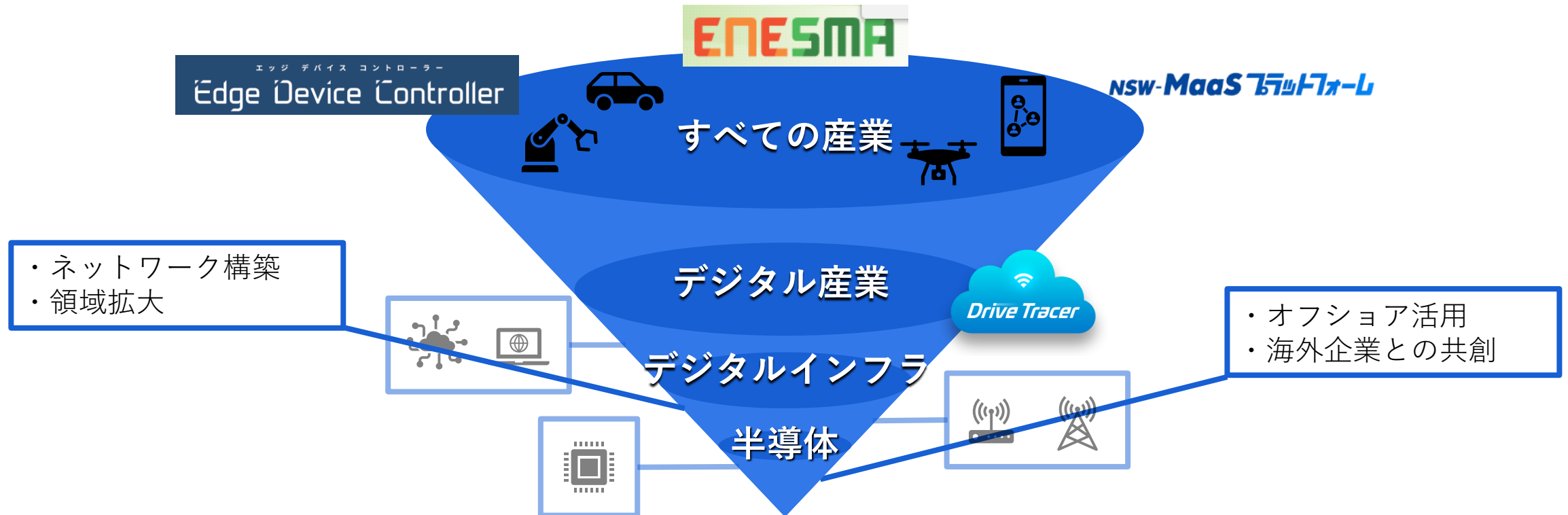
- モビリティロボティクス
- 農機、船舶、建機、AGV





# デジタル社会への貢献とグローバル企業への挑戦

NSWが長年培ってきたコア技術により幅広い領域を網羅するワンストップソリューションをベースに、今後本格化が想定される”デジタル社会”の実現に貢献。  
デジタル社会の実現により伸長する世界市場へも積極的に展開し、グローバル企業への成長を目指す。



## 3-2. 事業トピックス

～変革共創企業として飛躍するために～

# NSWの強みと共創によりDXを実現

- ✓ 事業構想策定を得意とする  
コンサルティングファーム
- ✓ 最適な環境提供の基盤となる  
パブリッククラウドベンダー
- ✓ 各業種において専門性を有する  
ベンダー企業

## パートナー

DX実現に向けた  
パートナー連携と  
デジタル技術

## デジタル技術

- ✓ IoT
- ✓ AI・分析
- ✓ 5G/ローカル5G
- ✓ 自動運転
- ✓ ロボット/ドローン
- ✓ ブロックチェーン

# NSW

業種特化DX  
ソリューション

DX支援  
サービス

デジタル  
プラットフォーム

エッジコンピューティング

デバイス

目指すべき  
DX  
(デジタル変革)

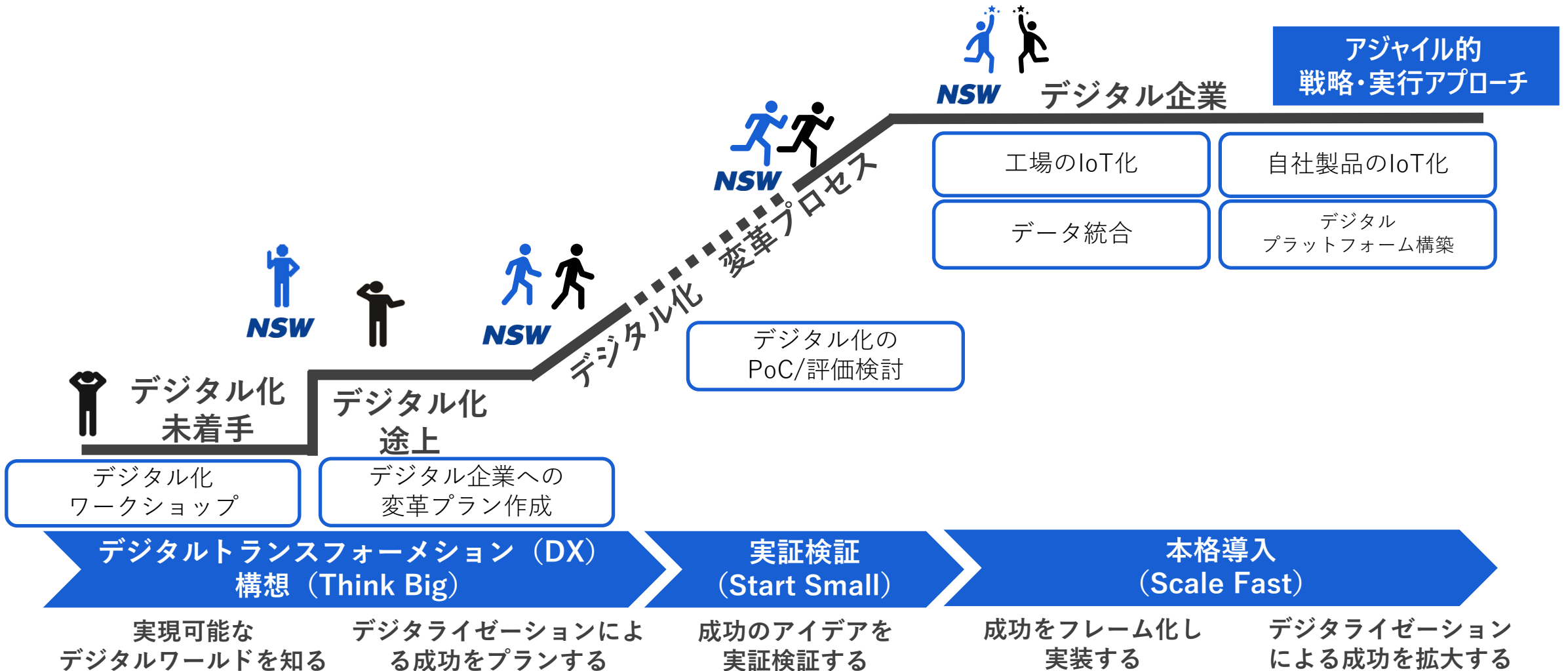
## お客様

- ✓ お客様課題の解決
- ✓ ビジョン実現の支援
- ✓ 変革による成長

**DX FIRST** × 共創

# お客様のデジタル変革事例

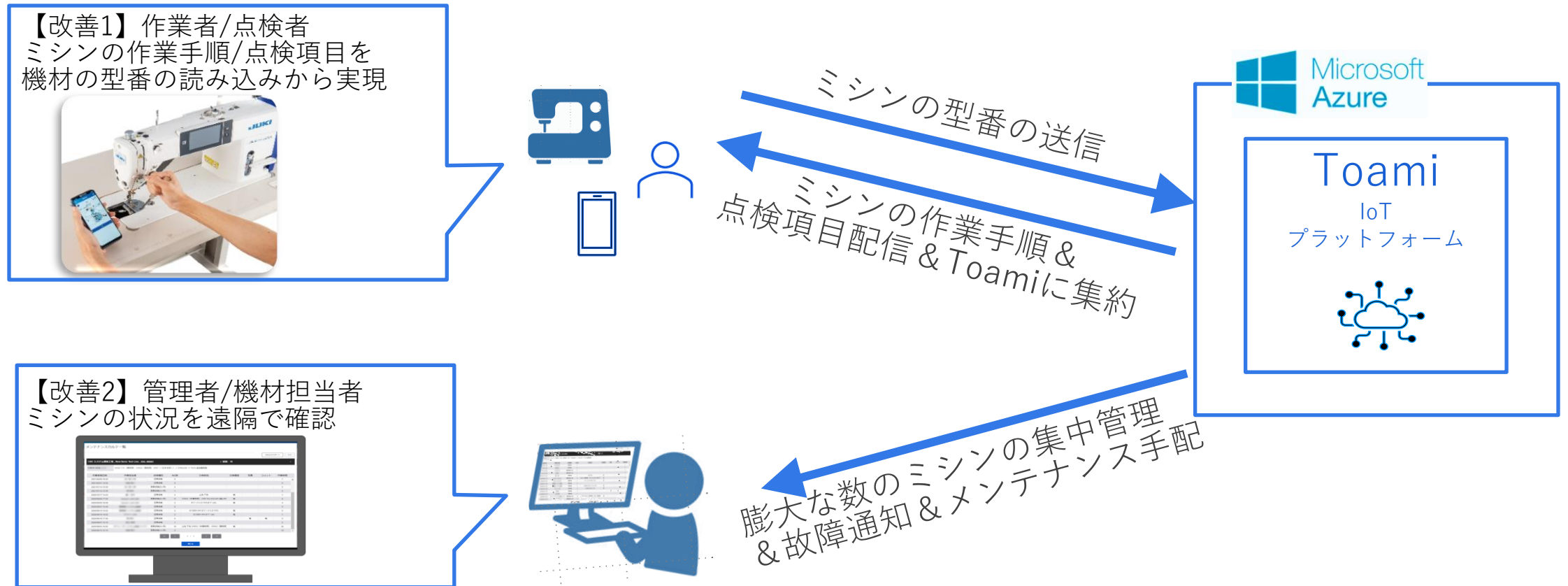
## ●DXに対する伴走型支援のロードマップ



# お客様の製品変革事例

## ●業務用ミシンのIoT化 | 作業手順の個別配信 | 点検作業の効率化

裁縫工場向けマシン点検サポートシステムShuHaRi(しゅはり)によるDX事例  
個々のミシンの点検状況をIoTプラットフォームで集約し、迅速なメンテナンスによりミシンの寿命UP  
機種ごとに異なるミシンの作業点検を作業者のスマートフォンに個別配信し、作業の効率UP



# デジタル技術の活用事例

## ●熱中症予防IoTサービス Around Now! Mobile Edition

### ●利用イメージ



### ●社会課題解決事例(線路保全業務)



作業現場から離れた本部では現場の熱中症指数を把握することができず、熱中症対策ができずにいた  
**リアルタイムで熱中症指数の把握が可能に**

### ●利用場所



線路保全



高速道路保全



工場



工事現場



運動場

**携帯センサーとモバイル端末の連携により、管理者がWBGT値をリアルタイムで確認可能になり、移動の多い屋外でも作業者の健康管理を可能に**

# パートナー様との共創事例 1

## ●The Smart Factory @ Kyoto

企業A  
ガラスメーカー

企業B  
板金加工メーカー

### ワークショップ参加



展示ソリューション体験

ワーク・ディスカッション

工場DX導入推進体験

### 工場現地訪問



工場環境管理

製造工場内の環境を  
リモートかつリアルタイム  
で管理・監視



人物映像認識

工場管理における、  
人物認識・装備に対する  
映像解析の判定を行う

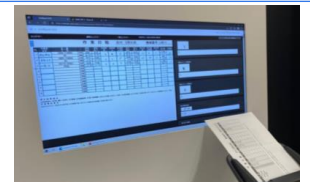
工場DX紹介

## DX提案中 人材育成サービス検討中

### 生産データのデジタル化・可視化



帳票電子化



AI-OCR

## ●慶應義塾大学

### 空気環境管理ソリューション開発

- ✓ 保管や物流段階などでフードロスをなくす取り組みの有効性について、NSWと慶應義塾大学奥田知明研究室が空気環境における様々な視点から仮説を立て、共同研究や実証実験から検証する
- ✓ 共同研究を通じて、センシング技術の活用や他システムとの組み合わせにより、社会課題の解決へ貢献することで、「持続可能な社会の実現」を目指す

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# パートナー様との共創事例 2

## ●千葉市動物公園(AI活用による実証実験)

### システム概要



カメラ映像



人物認識  
モデル

ナンバープレート  
認識

特徴量抽出



特徴量分析

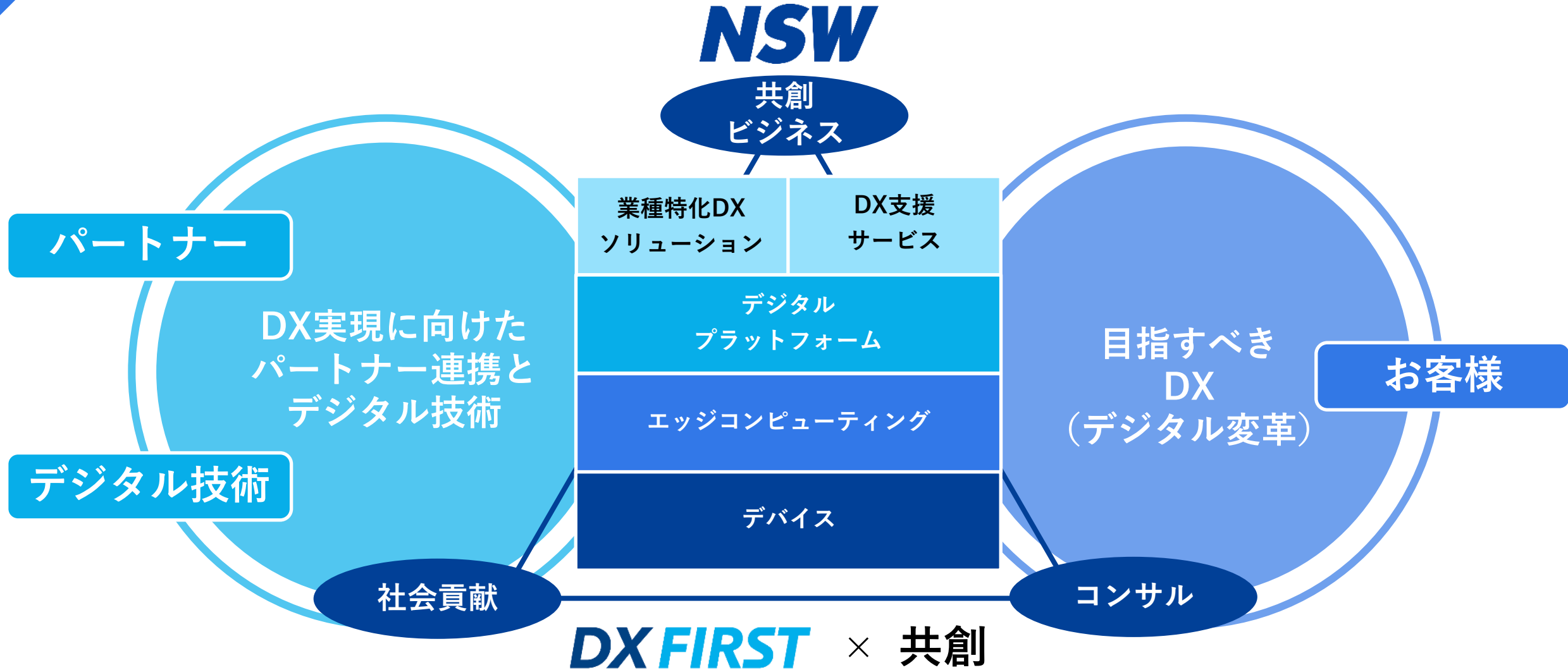


- ・ 来場者数のカウントと混雑予測  
過去データ・天候・気温等から一週間先まで混雑状況を予測
- ・ 園内施設の混雑状況の可視化  
リアルタイムの混雑状況を入口付近のモニターで配信
- ・ 駐車場の混雑状況の配信  
リアルタイムの混雑状況をHPで配信

地域課題の解決や新たな価値創造に貢献



# これからのDXの方向性



変革共創企業として飛躍していく



**NSW**

*Humanware By Systemware*